

目 次

I	はじめに	1
II	概 況	2
III	事業別報告	3
	1. 友愛山荘運営事業	3
	(1) 利用状況	3
	(2) 運営費用状況	3
	(3) 広報・広告等	4
	2. 情報等発信事業	7
	(1) 機関紙『友愛』の発行	7
	(2) ホームページの公開・更新	9
	(3) 発行・配布等	10
	(4) 創立65周年記念式典	12
	3. 国際交流事業	16
	(1) 派遣事業	16
	① 一帯一路フォーラム派遣	16
	(2) 受入事業	19
	① ミャンマー農業研修生受入事業	19
	(3) 交流事業	23
	① 友愛国際写真コンクール	23
	② ÖJAB 来日 現状報告と謝意伝達	29
	③ パオの展示	31
	④ 友愛講演会事業	32
	⑤ 北京にてシンポジウム開催	35
	⑥ 西安外国語大学附属高校訪問	37
	4. 日中緑化交流基金による中国植林事業	38
	5. 他団体への協力事業	44
IV	業務執行	46
	1. 理事会開催	46
	2. 評議員会開催	48

I はじめに

(設立)

一般財団法人友愛は、昭和28年(1953年)に結成された友愛青年同志会を母体とし、昭和34年(1959年)に財団法人日本友愛青年協会(所管文部省)として設立された。平成23年4月に一般財団法人へ組織変更し、また日本友愛協会と名称を変更して公益事業を継続。

平成29年12月22日付で、名称を一般財団法人友愛に変更した。

(目的)

この法人は、自立と共生の友愛の理念の下に、国内外の青年や社会人の交流を深め、友愛の理念を次世代に継承、発展させる人材を育成し、もって世界平和に資することを目的とする。(定款より)

Ⅱ 概 況

総 括

今年度特筆すべき事項は三点あげられる。一つは、2011 年一般財団法人へ移行以来続けてきた「公益目的支出計画」が完了したこと。一つは、2017 年度に提出した公益財団法人の申請が認定されたこと。そして最後の一つは、上記二項目に伴い、「軽井沢友愛山荘」の運営を終了したことである。

それぞれの項目の結果を記せば、公益目的支出計画が完了したことは、八年間に亘り「公益事業を実施してきた」ことの証拠であり、本財団にとって誇るべきことといえる。

公益財団法人として認定（2019 年 4 月 1 日付）されたことは、本財団が掲げてきた友愛の理念のもと実施してきた事業が公の益になると認められたことで、今後歩むべき道筋は厳しさを増すことは否めないが、希望と誇りをもって進んで行くのみである。

友愛山荘の運営終了は、数えきれない思い出と、設立以来の道のりを考えると正に感無量ということである。しかし友愛山荘は、鳩山由紀夫理事長の強い思いもあって、友愛山荘株式会社として独立し、今後も運営を続けていくことを附記する。

その他、友愛国際写真コンクールも回を重ねる毎に、主題である「友愛・平和・自然」などが顕著に表れた作品が多く、友愛理念の普及に資していると実感できる。

ミャンマー農業研修生受入も、関係各位の協力を得て、サツマイモのみならずキノコなど実際に経済効果が見込めるものについても、研修が始まった。また、現地の「友愛ファーム」では五種類のサツマイモが試験栽培され、多くの関係者の期待と関心が集まっている。

友愛講演会と組み合わせて実施されている「小論文コンテスト」も毎年多くの作品が集まり、今後に期待が寄せられるところである。

順調に実施された事業の実績と、関係各位のご協力を得て今年度が一般財団法人友愛としての有終の美を飾れたことを、感謝と共にここに記す。

次年度は公益財団法人として出発する。今年度までに築いた歴史に更なる輝きを増すべく、活動を継続していくことを誓いたい。

Ⅲ 事業別報告

1、友愛山荘運営事業

(定款第4条第1号、第2号に基づく事業)

事業概要

社会の人々への「友愛」の普及、啓発をはかり、心身の健全発達に資する場としての友愛山荘の運営を行う。一般社会に広く開放することにより、世代を越えた交流を促す。ゼミ・研修会・親睦会・合宿等の利用に適した施設を安価な利用料金にて提供する。

(1)利用状況

	延べ宿泊人数	総売上金額
平成30年度	1,227 人	10,803,935 円
前年比	86%	82%
《参考》		
平成29年度	1,424 人	13,035,272 円
平成28年度	1,486 人	13,435,482 円
平成27年度	1,755 人	15,023,950 円
平成26年度	1,788 人	14,374,680 円
平成25年度	1,563 人	11,879,196 円
平成24年度	1,453 人	10,153,031 円
平成23年度	1,242 人	8,712,233 円
平成22年度	1,441 人	10,682,075 円
平成21年度	1,316 人	10,087,175 円
平成20年度	1,224 人	9,446,185 円

(2)運営費用状況

人数・売上	利用人数(人)	売上総額(円)
30年度	1,227	10,803,935
29年度	1,424	13,035,272
前年比(%)	86	82

主要経費	食材仕入(円)	リネン経費(円)	燃料経費(円)	水道光熱費(円)
30 年度	2,255,607	416,473	376,784	2,543,504
29 年度	2,800,618	457,906	406,226	2,400,773
前年比 (%)	80	90	92	105

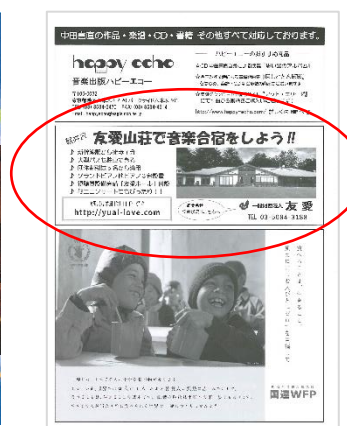
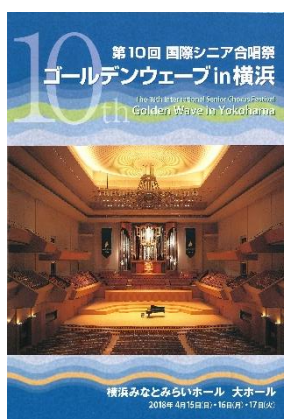
一人当り経費	食材仕入(円)	リネン経費(円)	燃料経費(円)	水道光熱費(円)	経費計(円)
30 年度	1,766	339	307	2,072	4,484
29 年度	1,966	321	285	1,685	4,257
前年比 (%)	89	105	107	122	105

(3)広報・広告等

①特定非営利活動法人ゴールデンウェーブ 第10回国際シニア合唱祭『ゴールデンウェーブ in 横浜』の当日プログラムに山荘の広告を掲載

・平成30年4月15日(日)16日(月)17日(火)横浜みなとみらいホール大ホールにて 発行約5,000部

・掲載料金 A4判 $\frac{1}{4}$ ページ (W190×H73) 白黒 20,000円(税込)



②公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 第39回『ヨコハマコーラルフェスト』の当日プログラムに山荘の広告を掲載

- ・平成31年2月15日(金)16日(土)17日(日)横浜みなとみらいホールにて発行3,700部
- ・掲載料金 A4判 $\frac{1}{2}$ ページ (W180×H127) 白黒 10,000円(税込)



③インターカレッジ女声合唱団 第10回記念定期演奏会の当日プログラムに山荘の広告を掲載

- ・平成31年2月25日(月)東京芸術劇場コンサートホールにて発行約1,100部
- ・掲載料金 A4判1ページ カラー 40,000円(税込)



④広 報

- イ) 友愛山荘パンフレット・価格表・友愛山荘紹介カードをセットにして、関連施設等に設置、配布を依頼。
- ロ) 友愛山荘紹介カードは名刺サイズで小さい為、持ち歩きが簡便であると好評である。



参 考

友愛山荘 新料金体系・連絡先

ひとり 一泊二食付きの利用料金(税別)

個人利用 一般 10,000 円

個人利用 子供・学生 8,000 円

※満4歳から子供・学生料金の対象

団体割引: 5名以上・5名まで同室にて、ひとり一泊二食付きの利用料金(税別)

一般 9,000 円

子供・学生 7,000 円

友 愛 山 荘 株式会社

〒389-0104

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東126

TEL 0267-42-2477

FAX 0267-42-4306

2、情報等発信事業

(定款第4条第1号、第6号に基づく事業)

事業概要

機関紙『友愛』の発行、ホームページでの情報開示(事業報告等を含む)及びリーフレットの作成、配布などを通じ、本協会の実施事業、実施目的などを広く伝達し、友愛理念についての理解を深める一助とする。

(1)機関紙『友愛』の発行

- ・機関紙『友愛』は、5回発行された。
- ・理事長が参加した事業に関しては、随時理事長の執筆による報告記事が掲載され、具体的な読者への報告が行われた。
- ・投稿・寄稿もあり、読者に馴染みを持たれていることが伺える。

◆ 平成30年度機関紙『友愛』発行履歴

平成30年5月(第553号) 4,000部発行

- ▶日中緑化交流基金 第29次友愛植林訪中団派遣 北京大学生も参加
- ▶シンポジウム「友愛サロン」開催
- ▶奨学金対象 講演感想文「私にとって友愛とは」表彰式開催 入賞作品三位三名の全文紹介

平成30年7月(第554号) 4,000部発行

- ▶第十八回定時評議員会開催
- ▶「私にとって友愛とは」第一回 一位入賞 徐嘉熠さん 表敬訪問
- ▶友愛創立65周年記念大会開催
「六十五年を顧みて 一我が青春を思う一」…常務理事 川手正一郎

平成30年9月(第555号) 4,000部発行

- ▶宋慶齡基金会訪問 王家瑞理事長と歓談 王家瑞理事長訪日時の約束を果たして
- ▶エヤップが友愛の支援に感謝 難民救済の記録写真集を作成 民族衣装を纏ってリサさん来訪
- ▶中華全国青年連合 汪鴻雁副主席 鳩山理事長訪問

- ▶中国国際交流中心主催 中国へのアプローチ「一带一路」の国々からの若者たち
特別フォーラムに日本代表として二名派遣 十ヶ国20名の若者が参加 10
日間の充実日程
- ▶公益社団法人けん玉協会主催 第十六回けん玉ペインティングコンテスト表彰式
開催 堀雛奈子さんが友愛賞受賞

平成30年11月(第556号) 4,000部発行

- ▶平成30年度ミャンマー農業研修生受入事業 元気に三名が来日 二ヶ月にわた
る研修開始
- ▶ミャンマー農業研修生受入事業実施中間報告 平和記念公園にて献花・核兵器
廃絶の思いを若人が実感 …一般財団法人友愛 理事・運営委員 井田安信
- ▶一带一路フォーラムに参加して 成都・四〇〇〇年の歴史
…東北大学 四年 安達陽菜
- ▶一带一路フォーラムに参加して 人と人の交流
…早稲田大学 四年 渡邊 健

平成31年1月(第557号) 4,000部発行

- ▶巻頭言 友愛の理念を大きく育てよう 理事長 鳩山由紀夫
- ▶第五回 友愛国際写真コンクール 表彰式開催 特別附録で受賞作品を紹介 ホー
ムページにも掲示
- ▶訪中団報告記事 参加理事三名の寄稿
極寒のなかのハーモニー …理事 井田安信
「友愛」につつまれて …理事 西川伸起
訪中に思う …理事 攪上哲夫
- ▶寄稿 蘇州 小郡市在住 会員 岩崎充孝

◆ 送 付 先

会員・関係各位団体等 : 1,400箇所に郵送

また、軽井沢友愛山荘、鳩山会館等関係各所にて配布している。

関係団体へ送付し、配布を依頼。

海外関係先へ送付、配布依頼(中国国際青年交流中心・北京理工大学等)。

(2)ホームページの公開・更新

- ・ 随時ホームページを更新した。写真を多用し、「見て解る」活動内容の掲示に努めた。
 - ・ 友愛山荘関連は、全ての情報がスマートフォン対応になっている
 - ・ 友愛会員登録がホームページでできるようになっている
 - ・ 「第5回友愛国際写真コンクール」は、すべてインターネットを利用しての応募、人気投票であったため、ホームページが活用された。
 - ・ 機関紙『友愛』バックナンバー（第1号～最新号[557号]）の掲示が完了しており、『友愛』発行毎に更新が行われている。
- 昨年の法人名の変更に伴い、ホームページアドレス及びメールアドレスが変更されているため旧アドレスも使用できる状態を2年間を目途に継続させている。



鳩山一郎先生の書「友愛」がトップのタイトルに使われている

新アドレス

ホームページアドレス	http://yuai-love.com
メールアドレス	you-i@yuai-love.com

(3)発行・配布等

①リーフレット『友愛とは』の配布

入会希望者等に郵送及び、友愛事務局・鳩山会館等で配布した。

植林訪中時に持参、中国の学生に配布した。また、「一带一路」のフォーラム、国際交流事業実施時において配布。

- ・友愛を簡単に紹介する資料として有効であることから、英訳・中国語訳を作成した。



日本語版

友愛とは

友愛とは、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。友愛は、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。友愛は、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。

友愛の目的と活動内容

友愛の目的は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の活動内容は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の活動内容は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛の歴史

友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛の未来

友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛とは

友愛とは、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。友愛は、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。友愛は、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。

友愛の目的と活動内容

友愛の目的は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の活動内容は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の活動内容は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛の歴史

友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛の未来

友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。

英語版

What is YUAI?

YUAI is a movement for promoting friendship between Japan and China. YUAI is a movement for promoting friendship between Japan and China. YUAI is a movement for promoting friendship between Japan and China.

Advocate for Friendship and Humanity movement (YUAI movement)

YUAI movement is a movement for promoting friendship between Japan and China. YUAI movement is a movement for promoting friendship between Japan and China. YUAI movement is a movement for promoting friendship between Japan and China.

History of YUAI Movement

YUAI movement has a long history. YUAI movement has a long history. YUAI movement has a long history.

Realization of YUAI Society

YUAI society is a society where friendship between Japan and China is realized. YUAI society is a society where friendship between Japan and China is realized. YUAI society is a society where friendship between Japan and China is realized.

What is YUAI?

YUAI is a movement for promoting friendship between Japan and China. YUAI is a movement for promoting friendship between Japan and China. YUAI is a movement for promoting friendship between Japan and China.

Advocate for Friendship and Humanity movement (YUAI movement)

YUAI movement is a movement for promoting friendship between Japan and China. YUAI movement is a movement for promoting friendship between Japan and China. YUAI movement is a movement for promoting friendship between Japan and China.

History of YUAI Movement

YUAI movement has a long history. YUAI movement has a long history. YUAI movement has a long history.

Realization of YUAI Society

YUAI society is a society where friendship between Japan and China is realized. YUAI society is a society where friendship between Japan and China is realized. YUAI society is a society where friendship between Japan and China is realized.

中国語版

友愛

友愛とは、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。友愛は、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。友愛は、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。

友愛の目的と活動内容

友愛の目的は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の活動内容は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の活動内容は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛の歴史

友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛の未来

友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛

友愛とは、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。友愛は、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。友愛は、日本と中国の友好関係を促進するための活動です。

友愛の目的と活動内容

友愛の目的は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の活動内容は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の活動内容は、日本と中国の友好関係を促進することです。

友愛の歴史

友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の歴史は、日本と中国の友好関係を促進することです。

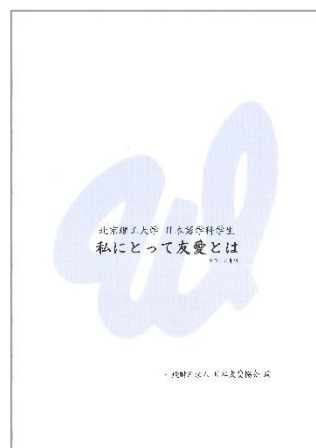
友愛の未来

友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。友愛の未来は、日本と中国の友好関係を促進することです。

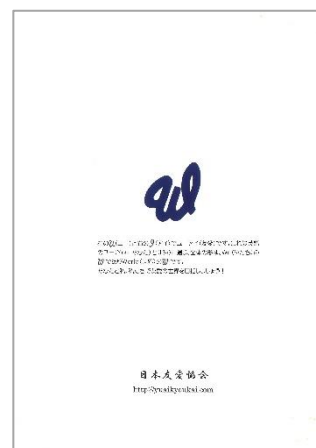
②『私にとって友愛とは』

北京理工大学に於ける「友愛講演会」奨学金対象感想文の内、受賞作品を冊子にした。その内容の素晴らしさと日本語の見事さを紹介すべく関係各位及び植林訪中時に持参し配布した。

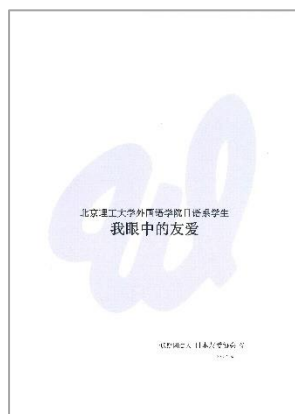
また、平成30年4月15日北京の二十一世紀飯店に於いて開催された表彰式で、日本語版と中国語版を配付した。



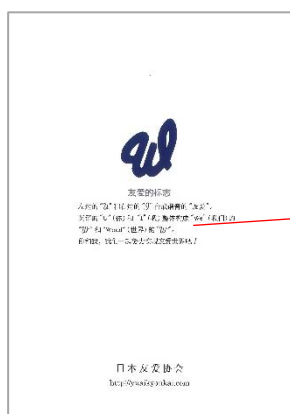
日本語版表紙



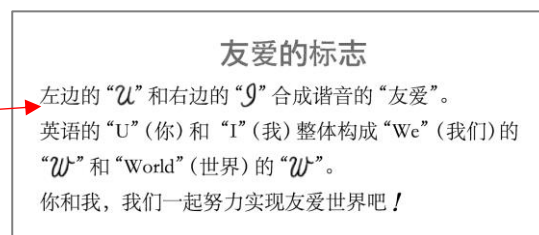
日本語版裏表紙



中国語版表紙



中国語版裏表紙



中国語の友愛ロゴ説明

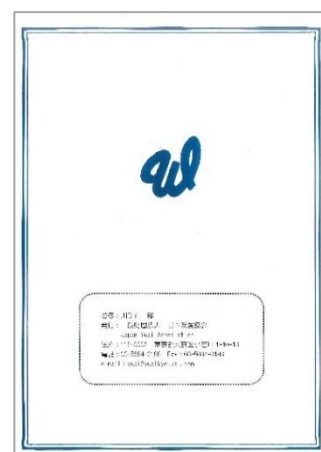
③『友愛雑感』

北京理工大学に於ける「友愛講演会」の開催時、川手常務理事執筆の『友愛雑感』を教材として学生に配布した。

- ・今後中国語訳・英訳などを検討中
- ・友愛活動の歴史をまとめたものとして評価されている。



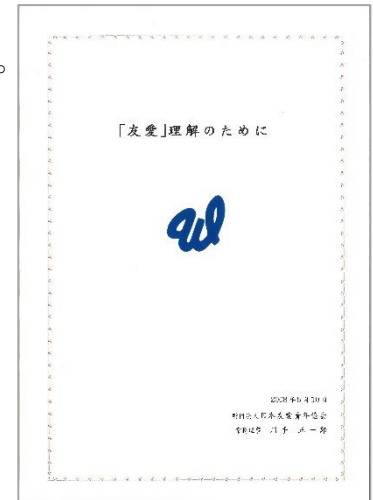
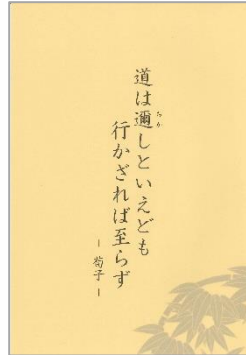
表



裏表紙

④ 友愛解説冊子『「友愛」理解のために』、卓話記録『道は邇しといえども行かざれば至らず』の配布

希望者に郵送及び、友愛本部(東京事務所)等で配布した。
植林訪中時に持参、中国の学生に配布した。



(4) 創立65周年記念式典

2018年5月19日(土) 鳩山会館において、友愛創立65周年記念大会が開催された。晴天に恵まれ120名に及ぶ会友・関係各位が出席。式典は12時より開始された。

次 第 12:00~15:00

- ・開式宣言 友愛理事 芳賀大輔
- ・黙祷
- ・開会の辞 友愛常務理事・大会委員長 川手正一郎
- ・挨拶 友愛理事長 鳩山由紀夫
- ・来賓紹介
- ・祝辞 在日中国大使館 汪 婉 参事官
- ・祝辞 新党大地 鈴木宗男 代表
- ・祝電披露
- ・記念撮影
- ・乾杯
- ・歓談
- ・閉会の辞 友愛理事 井上浩義
- ・閉会



川手正一郎常務理事寄稿
65年を顧みて—我が青春を思う—
友愛機関紙554号掲載



鳩山邦夫前理事長・奥田吉郎理事・大川
米子評議員など亡くなられた方々に黙
祷が捧げられた



中華人民共和国在日大使館程永華大使閣下
令夫人・汪婉参事官がご出席。友愛活動を称えたご挨拶を



階段上に設えた壇上から下へ降りて、参加者の皆さんに熱く友愛を語る鳩山由紀夫理事長



心配された雨もなく、参加者全員が緑あふれる庭で一堂に会した。式典は滞り無く行われた



創立当時からのメンバーである鶴巻克雄特別顧問は、今も心にある友愛の情熱を語り乾杯！



鳩山友愛塾第一期修了生、青山大人さんも思いを込めて祝辞を。現在は衆議院議員として活躍中



駆けつけた築瀬進前参議院議員
現在は昭和音楽大学で学長を務めておられる



公益財団法人公益法人協会太田達男会長もご出席くださった。友愛の目指す公益法人化を激励！



一番お忙しい時期にも拘わらず来賓としてご出席くださった
公認会計士小林広治先生



忙しい時間の合間をぬって、茂木健一郎理事も出席。人気絶大、皆さんに笑顔でご挨拶



現在活動の拠点としている金沢から遠路お越し下さって祝辞を植草一秀先生



鳩山邦夫前理事長のご長男、鳩山太郎さんも駆けつけて、お祝いの言葉を述べてくださった



司会進行の大役を終えて、笑顔のこぼれる芳賀大輔理事。(左) 川手常務理事(右)と談笑



素晴らしい笑顔、友愛を文字通り体現している鳩山由紀夫・幸ご夫妻。来賓のスピーチを聴きながら



旧友愛婦人会の方々が、受付などを引き受けてくださいました。皆さんお元気で、大活躍です



友愛塾の修了生も集まりました。理事長と一緒に記念撮影。この他にも沢山の塾生が出席しました



井上浩義理事が、閉会のご挨拶を。五年後、十年後の発展を祈って、活動が続けることを宣言



友愛機関紙第554号にて友愛創立65周年記念大会開催の特集記事を掲載した。ホームページでの写真は色彩画像で見ることができる。
また、65周年記念大会の写真集を作成し、出席者各位に郵送した。

友愛創立65周年記念大会写真集



表紙



3、国際交流事業

(定款第4条第3号、第5号、第6号に基づく事業)

(1)派遣事業

①一带一路フォーラム派遣

中国国際交流中心主催による中国「一带一路」の国々からの若者たちを集めた特別フォーラムに、日本代表として友愛から2名の学生を派遣した。

このフォーラムには18ヶ国30名の若者が参加した。

派遣員

東北大学	法学部4年	安達陽菜
早稲田大学	政治経済学部4年	渡邊 健



推薦人

東北大学大学院	法学研究科 教授	戸澤英典	(友愛評議員)
早稲田大学	政治経済学術院 教授	谷藤悦史	(友愛評議員)

一带一路フォーラムスケジュール

平成30年10月13日(土) 友愛講義

東京：友愛サロン

平成30年10月15日(月)～10月21日(日) 中国：成都

- ・1日目 北京 文化体験 アイスブレイキングセレモニー
- ・2日目 空路成都へ 歓迎式典
- ・3日目 成都都市企画館・高新ハイテク産業区視察・科学城視察
青年座談交流会
- ・4日目 青白江国際物流港・パンダ繁育研究基地見学など
- ・5日目 都江堰農村振興モデル村見学・金沙博物館見学
- ・6日目 国際自動車城見学・フォーラム感想会・歓送会
- ・7日目 帰国





成都歓迎式典でのインターナショナルな集合写真
18ヶ国から30名の若者が集結した



成都計画展示場 成都の誇る4000年の
歴史がわかりやすく図示されていた



Dongfeng Peugeot Citroënの成都工場。
機械化が進み、洗練された雰囲気だった



成都大学の学生ボランティアと。朝から
晩まで私たちに気を配り、プログラムの
サポートをしてくれていた。心から感謝
（中央安達さん）



北京到着後、自己紹介・アイスブレイキ
ングセレモニーにて
（中央渡邊さん）



自然と伝統、開発が調和する眺望市内にはこのような高層マンションが多く立ち並ぶ



成都の水がめ・都江堰へ続く門
3000 年前の土木技術の粋は今もそのまま使われているという

平成30年9月10日発行 友愛機関紙555号にて出発前の抱負、平成30年11月10日発行 友愛機関紙556号にて参加後の感想文を掲載した。

友愛機関紙555号3面



友愛機関紙556号3面



(2)受入事業

①ミャンマー農業研修生受入事業

事業概要

アウンサンスーチー議長より依頼を受け、友愛の理念のもと、「全ビルマ学生連盟外交委員会日本」と「ミャンマーニューリーダーを育成する会」と協力し、NLD(国民民主連盟)から派遣された研修生に、ミャンマー発展に資する指導者としての必要な研修の場を与え、その活動を支援するものである。

事業目的

ミャンマーの主たる産業が農業であることから、農業に関する知識、技術を日本の文化や考え方、生活に触れながら学ぶ機会を設けること。

研修後は自国において、日本で学んだことを伝え実践するよう努める。

研修を通して日本について理解してもらい、今後のミャンマーとの友好関係を緊密なものにする役割を担ってもらう。

事業実施

ア) 滞在期間

平成30年9月26日(水)～11月27日(火)

イ) 研修生

ラインザリー ティン ウィン	20歳	女性
ティンザー ウィン ピーチョウ	28歳	女性
ミン ゴウ ウー	22歳	男性

実施内容

鹿児島県において、サツマイモの収穫・貯蔵を体験。更にサツマイモの加工(焼酎・焼き芋・菓子等をつくる技術)を学び、自国での農業、経済発展に資する。近郊型野菜作りの体験や、農業全般を学ぶことから、自国での可能性を探る。



研修生の推薦母体である、NLDからの感謝の手紙を鳩山由紀夫理事長に届けた



来日の疲れも見せず、笑顔で理事長を表敬訪問。鳩山由紀夫理事長も笑顔で応えた

滞在日程(抜粋)

9月26日(水) 来日

9月27日(木) 鳩山理事長表敬訪問

9月28日(金) 移動(東京→鹿児島)

鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター(カピックセンター)
農業研修

10月 3日(水) サツマイモ栽培(収穫実習) 東農園

10月 4日(木) 日本文化体験(着付け・茶道) カピック

10月 6日(土) サツマイモ出荷工場見学 豊栄ファーム

10月11日(木) サツマイモ加工(焼酎)見学 小鹿酒造

10月12日(金) サツマイモ栽培と加工 澁谷食品

10月17日(水) 有畜複合農業、土着菌の活用 鹿児島大学農学部 高山耕二准教授

10月23日(火) 農家ホームステイ 元気印の菜園畑

10月25日(木) サツマイモのお菓子作り見学・実習 大野地区 森んちゅ 婦人グループ

10月 6日(土) サツマイモ出荷工場見学 豊栄ファーム

11月 3日(土) カピック研修まとめの発表会・閉講式
移動(鹿児島→広島)

11月 5日(月) 広島平和記念資料館見学 平和記念公園慰霊碑献花 被爆者体験談拝聴
世界遺産宮島見学 厳島神社

11月 7日(水) 京都・奈良見学

11月 9日(金) 京都 島津製作所 創業記念資料館見学

移動(京都→東京)

11月14日(水) ロッテ浦和工場見学・川越菓子屋横丁

11月16日(金) 鎌倉訪問 鎌倉大仏など見学

11月17日(火) 理事会へ研修報告 鳩山会館見学

11月19日(月) 銚子加工工場(ピーナツ味噌・ひしお(醤油)・煎餅生地見学) 富士正食品
銚子山十・根本商店

11月21日(水) オーガニック野菜(シイタケ・キクラゲ)見学 ハルカインターナショナル

11月27日(火) 帰国

研修・文化交流の様子



10月2日 オキスにて 農産物(野菜)の加工について勉強しました ゴボウを相手にVサイン



10月3日 東農園にてサツマ芋の収穫を実習。大きく育ったサツマ芋にビックリ。歓声が始まる



10月3日 東農園にて サツマ芋収穫の学習でトラクターの運転を体験。上手に出来てこの得意顔



10月3日 オレンジパークで。甘いミカンにビックリ。美味しいを連発、沢山のミカンを食べました



10月4日 カピックにて 日本文化体験の日 和服を着付けていただいたり、茶道を楽しんだり



10月11日 焼酎を造っている小鹿酒造株式会社にて芋選別やもろみの状態、芋蒸し機などの一連の製造工程を学んだ



10月13日 澁谷食品にて サツマ芋の栽培、加工について実習。お土産もどっさりいただきました



10月25日 大野地区（森んちゅ・婦人グループ）にてサツマ芋を活用したお菓子作りを実習



10月20日 英語キャンプ・神野地区町内会のご協力で・各国から参加した留学生・研修生が一同に会して。サツマ芋の収穫・ダンスでの交流など、新しい国際交流のかたち。翌日には餅つきも体験



10月23日 元気印の菜園畑／堀之内節子さんのお宅にホームステイ。堀之内ご夫妻と一緒に記念撮影。日本の農家の暮らしを実際に体験することが出来て、色々勉強になりましたと話していた

理事会での報告 平成30年11月17日(土)



(3)交流事業

①友愛国際写真コンクール

事業概要

- ・「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」をテーマに、写真コンクールを行う。
 - ・近年、携帯電話、インターネットの普及に伴い、中国における写真に対する興味が増加している。日本においてもインターネットへの写真掲載は容易となり発展している。
- これらを踏まえ、植林事業において永年カウンターパートとして協力関係を続けている中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)との関係をこの事業を以って継続し、日中友好を築くこととする。
- ・国籍を問わず応募者を募り、友愛の理念を広め、世界平和、環境保護に対する世界の青年および成人の認識を呼び起こす契機となる。

実施内容

- ・中国国内においては、中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)が核となり、インターネットを利用した募集、管理を行う。
- ・日本国内においては、友愛のホームページ上に、コンクール開催を掲示し募集する。
- ・両国とも受付窓口は、インターネットによるものとし、中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)が行う。
- ・投票サイトを開設。日本語・中国語・英語にて掲載。
- ・応募締め切り後、日中両国の審査員によって、審査を行う。
- ・審査終了後日、中国(北京)において、展示会及び表彰式を行う。

募集テーマ

「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」

応募資格

国籍を問わず、年齢13歳以上の者

応募規定

ひとり3作品まで。

自作、未発表の作品をインターネットで応募すること 紙焼き等の応募は不可



ホームページ上の応募画面

期間

応募期間：2018年7月15日(日)～
9月15日(土)

作品審査：2018年9月下旬～10月
表彰式：2018年12月21日(金)

応募総数

2018年7月15日から9月15日までの
応募期間に、寄せられた作品は約10,000点強

応募参加の国々

世界 17ヶ国

日本側審査員

- ・新藤健一（フォトジャーナリスト 元共同通信社編集次長）
- ・石渡菜々子（スタジオ CAC 主幹カメラマン）
- ・一般財団法人友愛 理事・監事【計13名】

中国側審査員

- ・ 于文国（中国報道写真学会副会長）
- ・ 成衛東（中国写真家協会会員）
- ・ 陳奇軍（『中国撮影』雑誌編集部主任）
- ・ 吳承歡（中国写真家協会ネット編集者）
- ・ 翟紅剛（新浪網写真部ディレクター）

[illegible]

受賞作品

専門賞(芸術写真として完成度の高いものに一等から三等の賞)、友愛賞、優秀賞、友好参加賞、ネットユーザー人気賞、携帯写真賞(携帯電話で撮影したもの)等、部門毎の賞を設定し、中国側審査員5名、日本側審査員2名及び日本友愛協会理事会の厳正なる審査の結果、約32点が受賞作品に選ばれた。

友愛賞

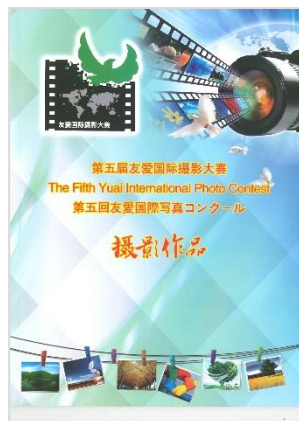


江河「蓮の花のそばで」



黄建軍「幼き修行僧と子犬」

中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)作成の第5回友愛国際写真コンクールの冊子



表紙



裏表紙

受賞作品

*受賞作品を機関紙『友愛』(557号)の附録として発表

*本協会ホームページ上に掲載発表

2018年友愛国際写真コンクール 受賞作品 紙上発表

二等賞 董健光「砂漠は緑に」

二等賞 李雪冬「極寒のデート」

二等賞 楊潔「サッカーの夢」

三等賞 Leyla Enektar 「影のギリシャ神話」

三等賞 金美玉「仲違いした夫婦」

一等賞 楊聖魁「ハーモニー」

友愛賞 江河「端の花のそばで」

友愛賞 黃建華「幼き修行僧と子犬」

三等賞 張岩「かわいそうな小魚」

三等賞 謝連海「青い海と黄金色の灘」

三等賞 任世傑「10年間砂漠緑化を
してきたおじいさん」

友
愛
附
録

優秀賞

鄧凱雲「朝」

劉 幸平「五月の富士」

陳士德「祖父と孫」

齊紀凱「天國のような山々」

熊國利「島木村の朝片」

趙雅丹「思い出のひとこま」

徐美慧「深い遠ける」

張玉浩「三娘のミカン」

江景瀛「風雪を共にする女の子」

孫平「冬の口」

友好参加賞

李蔚旺「運動の途中」

古道倫「極寒行」

謝華英「老夫婦」

段東輝「水兄弟」

趙廣福「楽しいど自慢大会」

郭鑫城「留学生が迎えた中国での正月」

金家輝「家の街探」

劉性秀「美しい路々集」

段健「市井の人」

林祥祥「船の航路」

表彰式

平成30年12月21日（金）北京市内にある二十一世紀ホテルに於いて「2018年友愛国際写真コンクール」の表彰式が開催された。

表彰式当日は、会場には共青团中央委員会李柯勇書記をはじめとする来賓が出席、祝辞を述べた。会場では中国国際青年交流中心スタッフ作成の「友愛との歴史」と題する映像が流され、植林活動を始め永年に亘る交流の歴史が紹介された。

川手正一郎常務理事挨拶

「笑顔・感謝・挨拶は敵を作る事がない。これを広げていくことは、友愛理念の伝承に他ならない」

その他

本コンクールは、王晨全人代常務委員会副委員長、周秉徳女子も話題にされ、高い評価を頂いていることもあり、理事会で協議の結果、次年度からも続けて行くこととなった

各賞及び賞金

専門賞	1等賞	(1名)	5,000 元	×	1名	=	5,000 元
	2等賞	(3名)	3,000 元	×	3名	=	9,000 元
	3等賞	(5名)	2,000 元	×	5名	=	10,000 元
	優秀賞	(12名)	500 元	×	12名	=	6,000 元
友愛賞		2名	4,000 元	×	2名	=	8,000 元
ネット人気賞	1等賞	(1名)	2,000 元	×	1名	=	2,000 元
	2等賞	(2名)	1,000 元	×	2名	=	2,000 元
	3等賞	(4名)	500 元	×	4名	=	2,000 元
携帯賞	クリエーション賞	(20名)	100 元	×	20名	=	2,000 元
	感動賞	(20名)	100 元	×	20名	=	2,000 元
優秀組織賞		1団体	3,000 元	×	1団体	=	3,000 元
友好参与賞		9名					賞品

金額計 51,000 元（1 元≒19 円 約 969,000 円）

表 彰 式



当意即妙、定評のある川手常務理事の挨拶は、今回も大好評！ 学生も関係各位も素晴らしいと絶賛



友愛賞は、芳賀理事（右端）と馬主任（左端）の二人から手渡された。今年の友愛賞は秀逸！



李柯勇書記（右から四人目）・馬興民主任（右から二人目）を囲んで記念撮影



一位受賞の楊さんを中心に李書記（右）と川手常務理事（左）楊さんの手には賞状と賞金のボードが



二等賞の受賞者に賞状を手渡す井田理事。賞金ボードは森田悠介一等書記官が担当してくださった



三等賞の賞金パネルを手渡す攪上理事。受賞者も手渡す理事の顔にも笑顔がこぼれている



笑顔で受賞者と握手、西川理事（右）。毎年参加し、活躍の中国の成審査員も笑顔で見守る



優秀組写真賞の受賞者に賞状を手渡す洪桂梅副主任（右）。第一回開催よりこの事業に携わっている



訪中に参加の田中評議員（右）と受賞者の藍さん（中央）中国側審査員翟さん（左）



新藤健一審査員（右端）からは、ネットユーザーの人気投票で賞を獲得した卓さん（中央）に



携帯感動賞の賞状を受賞者に手渡す石渡菜々子審査員。一人一人に言葉を掛けながら笑顔で手渡した



会場に集まった学生と中国各地から参加の受賞者。友愛と全青連の関係を紹介するビデオに感動



撮影意図などを直接聞くことが出来るのも魅力。真剣な眼差しで聞く李書記、馬主任、川手常務理事



受賞者全員・関係者一同・参加の学生達が舞台に上がり全員での記念撮影

②ÖJAB 来日 現状報告と謝意伝達

平成30年8月19日(日)

エヤップ(オーストリア勤労青年連盟)からの使者として、リサ・フィッシングーさんが友愛を訪問。永年姉妹団体として親交を続けているエヤップは、現在難民救済活動に力をいれており、友愛の支援(寄付)が、活動推進に役立ったことから、是非にお礼と現在の活動の成果を報告したいとのことで、リサさんに「活動報告写真集」を託し、友愛に届けてくださった。

エヤップ手作りによる「活動報告写真集」は、全て日本語で表記されている。エヤップが難民救済に力を入れることになった経緯、そしてその活動、現在の難民の青年たちの様子などを見やすい表記、写真で掲載されている。「友愛」の歴史としても誇れる内容に仕上がっている。

* 報告写真集は、友愛ホームページに掲載



丁寧に感謝を伝える使者を遣わしたエヤップに対し、お礼の言葉を述べる鳩山由紀夫理事長



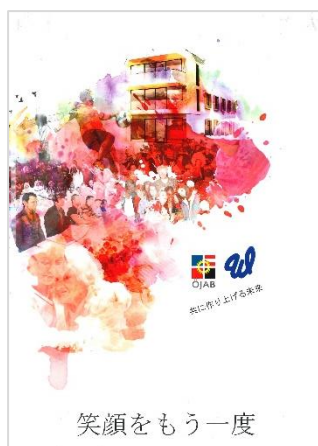
リサさんには、日本の伝統文化「香」を楽しんでいただけた一式が井上和子理事から贈られた



リサさんが大好きというすき焼き弁当で懇親食事を



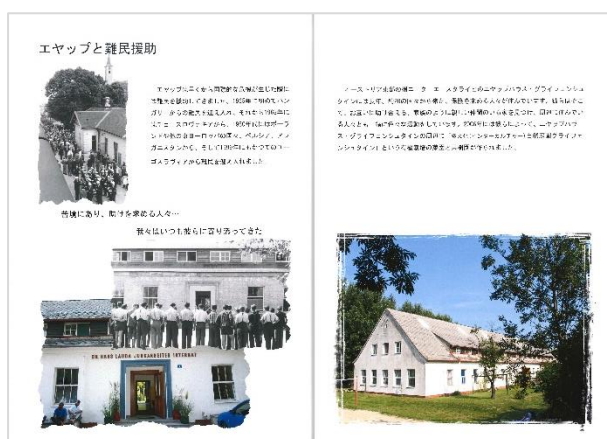
全員で記念撮影。全員の笑顔がエヤップと友愛の友好関係が、良好に継続することを物語っている



報告写真集の表紙



写真集の最終ページ



エヤップと難民救済について説明されているページ。建物は、難民の住まいとして提供されている



エヤップの気持ちが溢れた報告記事のページ

③パオの展示

本協会は、鳩山由紀夫理事長より寄贈を受けたパオを、国際交流事業の一環として友愛山荘敷地内に展示し、外国文化に触れる機会を提供することとし、平成25年8月8日より展示を行っている。

パオはモンゴル遊牧民の移動住居である。実際に現地で使用される物を展示していることから、生活の実際を垣間見ることができる。

また資料としての衣類（民族衣装）、家具などの展示も行っている。

大学生のゼミ合宿の際など、グループ毎のミーティングをパオの中で行うなど、パオが創り出す空間が人気を呼んでいる。

本協会として国際交流の実態を示すよう下記の趣意書をパオの内部、友愛山荘玄関ホールなどに置き、宣伝に努めている。

《趣 意》

国際交流の一環として包（パオ）を日本の多くの方にご高覧いただき、外国文化に触れ、相互理解の一助になれば幸いと存じ、軽井沢友愛山荘に展示します。



友愛山荘の庭、テニスコート寄りに二基のパオを設置、展示を続けている



パオの一基は、資料展示室として設営



手入れの甲斐もあり、パオは雪の重さにも耐えている

④友愛講演会事業

◆平成29年度 北京理工大学に於ける「友愛講演会」 奨学金対象者感想文の選考結果及び北京理工大学奨学金授与式

*** 今回の表彰式は平成29年度実施の講演会における感想文の受賞者に対して行われたものである。

*** 平成30年度の講演会は平成31年3月17日(日)北京語言大学で実施された。(34ページ掲載参照)

・平成30年4月15日(日)、北京の二十一世紀飯店に於いて開催された表彰式で、友愛より奨学金と賞状・記念品が贈られた。

・講演会(平成29年11月に実施)に参加した学生から「私にとって友愛とは」の題で感想文を募ったところ、数十編が寄せられた。

(入賞作品6編は、機関紙『友愛』第552・553号にて全文掲載)

・北京理工大学日本語学科の周教授、郭教授を始めとする教授陣の選考を受けた十六編が日本友愛協会に届けられた。

この十六編を理事、監事、評議員長を審査員とし、百点満点で採点。更に中国国際青年交流中心の王部長、羊課長の採点も加え厳正な審査が行われた。

いずれの作品も素晴らしい出来映えで、審査員を大いに悩ませたが、結果6名の受賞者が選出された。



鳩山由紀夫理事長は、これからも日本語を学び、日中友好のため活躍してくださいと語りかけた



鳩山由紀夫理事長から一位受賞の呉蕨さんに賞状が授与された。記念品は、幸夫人がプレゼンターを

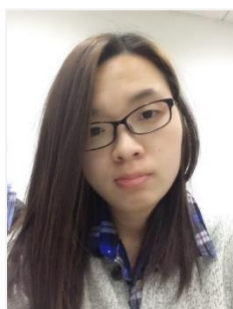


三位入賞者三名。写真右端は、北京理工大学日本語学部の周晨亮主任教授



全員揃って記念撮影。日中友好の懸け橋となる若者達に、心からのエールを贈りたい

受賞者紹介



第1位
呉 蔚さん(4年生)



第2位
宋 姣さん(3年生)



第2位
崔 所為さん(2年生)



第3位
毛 仁言さん(2年生)



第3位
張 莹さん(3年生)



第3位
班 宇識さん(4年生)

* 写真は入選者各自より提出されたものを掲載

◆平成30年度 北京語言大学に於ける「友愛講演会」

平成31年3月17日（日）北京語言大学構内に於いて友愛講演会が開催された。鳩山由紀夫理事長は、会場を埋め尽くす300名の学生を前に、50分にわたって友愛についての講演を行った。北京語言大学は、世界176ヶ国からの留学生が学び、独自の教育方針を貫いている大学で、東京池袋にも東京分校を開校し、中国語教育、日本語教育に力を入れている。

日本語学科の4年生を中心に約150名が参加の予定だったが、土曜日にもかかわらず多くの学生が聴衆に参加。広い会場の最上段まで席は埋まり、用意した資料などが足りなくなる有様だった。

この講演会を受け、日本語学科の学生は「私にとって友愛とは」の小論文を提出するコンテストに参加することとなる。

小論文コンテストは、公益財団法人友愛の表彰事業として実施され、優秀作品には、賞状と賞金が贈られる。



劉利学長を交えて記念撮影。日本語学科の先生方も参加してなごやかに



広い会場を埋め尽くして多くの学生が参加した。鳩山由紀夫理事長も、講演に熱が入る



質問も的確、多くの学生が手を挙げる。参加の学生も仲間の質問に頷きながら耳を傾けていた



壇上に並びきれない程の学生が集結、鳩山由紀夫理事長を囲んで記念撮影。若さが迫力のある力となって伝わってくる。それでも行動は秩序が保たれ、学生達の向学心の真面目さが感じられた

「私にとって友愛とは」第1回1位入賞の徐嘉熠さん来訪

平成30年6月30日（土）評議員会の終わった友愛サロンに、平成27年第1回友愛講演会奨学金対象者感想文のコンテストで第1位を受賞した徐嘉熠さんが訪れた。

清華大学大学院2年生に在籍し、専攻は日本語・文学。北京理工大学在学中（4年生）に友愛講演会に参加し、感想文を執筆した。平成30年4月から留学生として東京工業大学に籍をおき、9月末まで滞在。



評議員会に出席の役員に向かって、笑顔と素敵な日本語で挨拶 徐嘉熠さん



故郷の有名な石碑の拓本をお土産に持参。鳩山由紀夫理事長と川手常務理事に囲まれて緊張の一瞬

⑤北京にてシンポジウム開催

平成30年4月15日（日）

中国国際交流センターの洪桂梅主任の呼びかけにより、北京の二十一世紀飯店において、シンポジウム「友愛サロン」が開催された。これは北京で大学に通う各国の学生を集めて行われたもので、中国、韓国、ロシア、日本の大学生約30名が参加した。

鳩山由紀夫理事長の問いかけた「環境問題」に対し、ゴミ処理、自然保護、それに伴う各国の取り組みなど、意見が交わされた。



友愛サロンは、中国式お茶のおもてなしから始まった。写真最前列左端は、センターの洪桂梅主任



友愛の理念を広く伝えたいと発表。ロシアグループのブリャコブ・ダニエルさん

* ロシアから留学しているダニエルさんからは、その後メールで連絡があり、自国の大学に友愛を紹介するコーナーを作りたいので資料が欲しいとの申し出があった。これに応え資料と共に鳩山由紀夫理事長はエールのコメントを送った。



韓国の学生グループ。環境問題に関して、積極的に発言していた。写真左端はセンターの王希宏部長



中国学生代表のグループ。鳩山理事長は研究本も発行される程の人気ですと話していた



参加者全員で記念撮影。日本、中国、韓国、ロシア、友愛理念のもと、若者同志の交流発展に期待

⑥西安外国語大学附属高校訪問

平成31年3月16日（土）

植林に訪れた西陝省麟游県から北京にむかう道すがら、地元西安市の要望で、西安外国語大学の附属高校を訪問した。

記念植樹を実施。大勢の学生に拍手で迎えられた。鳩山由紀夫理事長と川手常務理事はこの歓迎に応え、「友愛について」スピーチを行った。

日本語学科の先生の指導による日本語の歌と踊り、民族衣装に身を包んだ学生達による踊りなど歓迎の出し物が続き、友愛訪中団一行も笑顔が絶えなかった。大学附属高校ということもあり、高校生の頃から選択すれば日本語が学べるというこの高校では、日本語は人気の学科ということで、多くの学生が流暢な日本語を話すことができる。



外国語大学学長・附属高校校長等と用意された大きな記念の樹を植える鳩山理事長ご夫妻



学校の入口に学生が並び、「呼びかけ」のメッセージを披露。大歓迎を受けた



各学年が趣向を凝らし、歌や踊りを披露してくれた。日本語の歌も見事に踊りながら歌っていた

4、日中緑化交流基金による中国植林事業

(定款第4条第2号、第4号に基づく事業)

事業概要

日中緑化交流基金を活用し、中国における植林活動を行う。環境保全に貢献し日中友好を目指す。併せて交流の機会を設け広く友愛の理念を伝える機会を得る。実施においては、中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)を中国側カウンターパートとし、日本からは広く募集をかけ参加者を募り、訪中団を結成し中国に派遣する。

《平成30年度事業》

＊土壌凍結等の都合から平成29年度内には実施できず、平成30年4月に第29次植林訪中団を派遣、実施した。

本事業報告書には、この第29次植林訪中(平成29年度事業)及び第30次植林訪中(平成30年度事業)についての報告を載せている。

▶ 第29次植林訪中団派遣

(期 間) 平成30年4月11日(水)～4月16日(月)

(植林地) 陝西省宝鶏市麟遊県[第三期], 遼寧省朝陽市北票市[第二期],

(中国側カウンターパート) 中華全国青年連合会、遼寧省北票市青年連合会
陝西省麟遊県林業局

(訪中団員) 名誉団長 鳩山由紀夫理事長

団長 川手正一郎常務理事

団員 鳩山 幸(鳩山由紀夫理事長夫人)

香葉村 亮(ライブキャスト株式会社 代表取締役社長)

高邑 勉(友愛会員 元衆議院議員)

清水瀬名(友愛会員 代々木高校三年)

羽中田元美事務局長

中国に留学中の大学生が合流参加

梅津 剛(北京大学 大学院修士)

高橋 博也(北京大学 大学院修士)

松本 英幸(北京大学 経済学部)

渡辺 栄香(北京大学 経済学部)

◆日中青年陝西省麟遊県生態緑化モデル林

（日中緑化交流基金からの助成金）9,800,000 円

（植林面積）60 ヘクタール

（植樹数）108,000 本

（植樹種）油松

実施の成果

生態区域を作ることによって、環境が悪化しつつある傾向が抑えられ、林地退化、土壌流失と土地の砂漠化などの自然災害現象の発生が減少し、地域の自然環境が改善される効果が期待できる。また、広報活動、ボランティア植林活動や事業起工式などの活動により、環境保全の意識がさらに普及されることとなった。

◆日中青年遼寧省北票市生態緑化モデル林

（日中緑化交流基金からの助成金）8,700,000 円

（植林面積）48 ヘクタール

（植樹数）80,000 本

（植樹種）油松、山杏

実施の成果

本事業の完成により、48ヘクタールの林地が増え、現地植生が少なく、土壌流出が深刻であった現状を変えた。それは同時に現地の生態環境を改善し、土壌流出を軽減させ、植生の防護機能を果たさせる効果が生まれた。

さらに、現地においての植樹、ボランティアの参加など実際の日中交流が行われることで、本事業は、日中青年交流の促進に大きな役割を果たしている。これらは両国の友情、世々代々に伝わる友好の増進に大いに寄与することであり、日中友好促進の重要な意義を果たしていると言える。

陝西省宝鶏市麟遊県



雨の降りしきる中、濡れながら参加者に呼びかける鳩山理事長



「雨にも負けず」元気に話をする川手正一郎常務理事



ぬかるみの中、靴には厚く泥が付いてしまう。どんなにとってもダメだと苦笑。
鳩山理事長ご夫妻



雨の中の植林活動。植えた木々の成長を願って、今後の日中友好の進展を信じて、手を重ねて誓いの円陣での握手。まさに雨天の友の誓いが結ばれた



陝西省西安は遣唐使が派遣された日本と縁の深い地である。空海が学んだ青龍寺にて記念撮影



西安市／空海の学んだ青龍寺にて



世界的に有名な「九成宮の石碑」の拓本が贈られた。貴重な資料だけに通し番号が打ってある

九成宮醴泉銘

中国唐時代の碑で、欧陽詢(おうようじゅん)の手になるその書は中国書道史上屈指の名品とされる。631年（貞観5）、唐の太宗は隋(ずい)の仁寿宮(じんじゅきゅう)を修復して、九成宮と名を改めた。そして翌年の夏、暑さを避けてその地を訪れたが、宮殿の傍らに醴泉、つまり甘味のある水の泉がわき出たという。それを記念して碑が建立され、勅命によって碑の銘文は侍中の魏徵(ぎちょう)が撰進(せんしん)し、書は欧陽詢の筆になった。ときに欧陽詢は76歳。碑の頭部の篆額(てんがく)には「九成宮醴泉銘」とあり、楷書(かいしよ)で1行50字、24行に謹厳に揮毫(きごう)する。一点一画、寸分のすきもない緻密(ちみつ)な造形性と格調の高さとは、古くから「楷法の極則」と称して尊重され、楷書の理想形とされてきた。碑は現在の陝西(せんせい/シャンシー)省麟遊(りんゆう)県天台山にある故址(こし)にあるが、拓本を求める人があまりにも多かったことを示すように、いまでは碑面の磨滅が著しい。

遼寧省朝陽市北票市



強風が吹き続けるなか、子供達は笑顔で待っていてくれた



参加の子ども達に段を降り、近づいて話し掛ける鳩山由紀夫理事長



昨年植えた苗木が二十センチほど育っていた。根もしっかり張っている。鳩山理事長は慈しむように木をなで、声を掛けていた



乾いた山肌が続く。十年後二十年後の緑に覆われた姿を祈って植林



地元の子どもたちと一緒に木を植える鳩山由紀夫理事長

▶ 第30次植林訪中団派遣

(期 間) 平成31年3月14日(木)～3月18日(月)

(植林地) 陝西省宝鶏市麟遊県[第四期：最終期]

(中国側カウンターパート) 中華全国青年連合会、陝西省麟遊県林業局

(訪中団員) 名誉団長 鳩山由紀夫理事長

団長 川手正一郎常務理事

団員 鳩山 幸(鳩山由紀夫理事長夫人)

川手祥右

高橋佳大

羽中田元美事務局長

◆ 日中青年陝西省麟遊県生態緑化モデル林

(日中緑化交流基金からの助成金) 9,400,000 円

(植林面積) 50 ヘクタール

(植樹数) 70,000 本 補植 10,000 本

(植樹種) 油松



「今日も皆さんと一緒に木を植えることを楽しみにやってきました」と挨拶。
鳩山由紀夫理事長



「元気・やる気・本気」この三つの気が大切ですと大きな声で挨拶。川手正一郎
常務理事



麟游県の植林現場。乾いた土色を見せる山肌。十年後緑に覆われた様子を頭に描いて下山した



今回の苗木はポットに入っていない。環境にも苗にも優しく、活着率も多いに期待できる



地元の中中学生・高校生・社会人ボランティアも加わり、大勢で力を合わせて沢山の木を植えた



苗木のための穴を掘るところから始めた今回の現場。鍬とスコップを使って頑張る理事長ご夫妻



地元の学生達もそれぞれチームを作って、競い合うように沢山の苗を植えている。急勾配で大変！



中腹の道をつたわって広い範囲に苗木を植えていく。沢山の人の列が長く続いている



最後となった麟游県の現場に建てられた生態緑化の看板。いつの日かこの看板も緑でみえなくなる



植林が終わって地元の方々、国際交流中心の王さんも一緒にみんなで記念撮影

5、他団体への協力事業

(定款第4条第2号、第7号に基づく事業)

1) 鳩山会館への協力

- ・同会館パンフレットを友愛本部(東京事務所)、軽井沢友愛山荘にて配布
- ・館長／鳩山由紀夫理事長、支配人／長田正太郎監事

2) 鳩山友愛塾への協力

- ・鳩山友愛塾修了生の会開催時に事務局が協力

3) 一般財団法人 人間塾への協力

- ・軽井沢友愛山荘利用にあたって、割引価格提供

4) 一般財団法人 東アジア共同体研究所への協力

- ・軽井沢友愛山荘利用にあたって、割引価格提供

5) 一般財団法人尾崎行雄記念財団への協力

- ・同財団会員として参加する。
- ・鳩山由紀夫理事長が同財団副会長を務める。
- ・谷藤悦史評議員が同財団評議員、萩原直三評議員が同財団理事を務めるなどの人的協力

6) 公益財団法人日本補助犬協会への協力

- ・東京事務局及び友愛山荘内に募金箱を設置。
- ・鳩山由紀夫理事長が同協会の名誉顧問を務める。

7) 公益社団法人日本けん玉協会への協力

- ・同協会主催「第16回 けん玉ペインティングコンテスト」に「日本友愛協会賞」および「団体賞」を提供し、賞金として総額6万4千円を拠出した。

平成30年8月26日(日)

第16回けん玉ペインティングコンテスト表彰式（池袋サンシャインシティ噴水広場）



賞状を読み上げる川手常務理事。迫力のある声に、受賞者を讃える気持ちが加わっている



自分の作品が印刷された賞状を手に、川手常務理事と記念撮影。ちょっと緊張気味の掘雛奈子さん



ペインティングコンテストの表彰に相応しく、作品の写真が正面と裏面共に印刷されている斬新賞状



挨拶する公益社団法人日本けん玉協会 松永義希会長。三千を超える応募作品に感謝を述べた



掘雛奈子さんの作品（中央）
大海を悠然と泳ぐ鯨が見事に描かれている



ペインティングコンテストの文部科学大臣賞杯（中央）奥には、受賞作品20点が全て飾られている

IV 業務執行

1、理事会開催

第70回臨時理事会（書面による決議）

発 送 日：平成30年 5月31日（木）

返信日付：平成30年 6月 5日（火）

議 事：平成29年度報告書類（事業報告・計算書類・公益目的支出計画実施報告書）に関して

第71回通常理事会

開催日：平成30年 6月30日（土）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、65周年記念式典報告に関して
機関紙『友愛』第553号発行

第71回通常理事会 付属（書面による決議）

発 送 日：平成30年 6月30日（土）

返信日付：平成30年 6月30日（土）

議 事：一般財団法人友愛 運営委員会運営規定に関して

第72回臨時理事会（書面による決議）

発 送 日：平成30年 7月 5日（木）

返信日付：平成30年 7月12日（土）

議 事：運営委員会の構成員に関して、運営委員会の位置づけに関して

第73回臨時理事会（書面による決議）

発 送 日：平成30年 8月 6日（月）

返信日付：平成30年 8月15日（水）

議 事：中国国際青年交流中心を推薦人とする「一带一路フォーラム」への人材派遣に関して、派遣人員に関しての選考は運営委員会に一任する件に関して、

第74回臨時理事会（書面による決議）

発 送 日：平成30年10月20日（土）

返信日付：平成30年10月25日(木)

議 事：平成31年度事業計画、平成31年度事業予算

第75回臨時理事会

開催日：平成30年11月17日(土)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、ミャンマー農業研修生受入事業に関して、友愛講演会事業に関して、ホームページに関して

友愛山荘定期借地権・建物・建物付随設備の売却に関して

宋慶齡基金会(王家瑞理事長)への桜の苗寄贈に関して

友愛国際写真コンクール表彰式・友愛講演会の実施に関して

友愛山荘職員・スタッフに対する「解決金」(慰労金)の給付について
評議員会開催に関して

機関紙『友愛』第556号発行

第75回臨時理事会 付属(書面による決議)

発 送 日：平成30年12月10日(月)

返信日付：平成30年12月15日(土)

議 事：友愛事務局・友愛山荘職員に対する冬季賞与に関して

第76回臨時理事会(書面による決議)

発 送 日：平成31年 1月 7日(月)

返信日付：平成30年 1月 8日(火)

議 事：選考委員会の設置及び選考委員会規定に関して、最初の選考委員会候補者に関して

第77回通常理事会

開催日：平成31年3月7日(木)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、ミャンマー農業研修生受入事業、ホームページに関して
友愛山荘定期借地権・建物・建物付随設備の売買契約締結、エヤップへの派遣事業の実施に関して、陝西省麟游県における植林活動及び友愛講演会の実施に関して、普及啓発事業「論語に学ぶ友愛講座」開催に関して、平成31年度事業計画及び予算に関して、評議員会開催に関して、
鳩山邦夫前理事長の名誉会長就任に関して、

2、評議員会開催

第18回定時評議員会

開催日：平成30年6月30日(土)

場 所：友愛サロン

議 事：友愛創立65周年記念大会に関して

平成29年度事業報告、平成29年度計算書類

平成29年度公益目的支出計画実施報告

第19回臨時評議員会

開催日：平成30年12月 1日(土)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛山荘事業、経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、ミャンマー農業研修生受入事業に関して、友愛講演会事業に関して、ホームページに関して

友愛山荘定期借地権・建物・建物付随設備の売却に関して